

平成31(2019)年度

関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程(修士)

学生募集要項 [夏期日程]

関西医科大学大学院 看護学研究科

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel: (072)804-0205, 0207(事務室直通)

E-mail:nursing@hirakata.kmu.ac.jp(事務室代表)

看護学研究科博士前期課程学生募集要項

1. 募集人員

研究科名	専攻名	課程	募集人員
看護学研究科	看護学専攻	博士前期課程(2年)	20名

2. 出願資格

本学看護学研究科(以下、本研究科 という)の博士前期課程に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とする。

研究者コースを志望する入学志願者について

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成31年3月に卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定による学士の学位を授与された者及び平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育機関であって、文部科学大臣が別に指定するもの)当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号) ……出願資格審査必要
- (8) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したと本研究科が認めた者 ……出願資格審査必要
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年3月31日までに22歳に達する者 ……出願資格審査必要

高度実践看護師コースを志望する入学志願者について

出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、入学の時点で看護臨地経験を原則として3年以上有する者

臨床看護教育者コースを志望する入学志願者について

出願資格の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、入学時点で保健師、助産師、看護師免許のいずれかに基づく臨地経験(教育歴を含む)を原則として3年以上有する者

注) (7)～(9)の出願資格審査対象者の基準は次の通りとし、出願前に個別の出願資格審査を受けること。研究論文1編以上(本人が筆頭者で査読がある学会発表(地方会可)を有し、さらに(ア)か(イ)のうち、いずれかの項目を満たしている者を受験資格ありとする。

(ア) 看護教員、看護管理者、認定看護師の研修など、いずれかの研修を6か月以上受講している者

(イ) 大学院研究生、リーダー経験、実習指導者経験など、いずれかについて1年以上の経験を有する者

※出願資格審査(該当者のみ)

① 申請方法

封筒に「看護学研究科出願資格審査書類(博士前期課程)在中」と朱書きし、申請書類を簡易書留郵便で郵送して下さい(郵送のみ受付)。事前に志望する専門領域の指導教員(9ページ参照)と相談して下さい。

② 申請期間

平成30年7月9日(月)～平成30年7月11日(水)【必着】

③ 申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号
関西医科大学看護学部事務室

④ 申請書類

1. 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙をホームページよりダウンロードし作成すること)
2. 最終学歴に関する証明書(卒業証明書、卒業見込み証明書、学位授与証明書のいずれか)
3. 研究論文の写し1編(本人が筆頭者である学会発表を含む)
4. 資格審査項目(ア)の内容を証明する修了証、または(イ)の内容を証明する施設長からの証明書(書式自由)
5. 返信用封筒〔宛名を明記、切手362円(速達用)を貼付すること〕

⑤ 出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は、平成30年7月20日(金)を目途として郵送にて発送予定です。結果通知後、出願を許可された者は、提出書類を出願締切日までに郵送下さい。

3. 願書受理期間及び提出書類

(1) 出願期間

平成30年7月23日(月)～平成30年8月6日(月)【必着】

注)出願期間後に到着した願書は受理しません。

(2) 出願方法

- ①出願にあたっては、事前に志望する専門領域の指導教員(9ページ参照)と相談して下さい。
- ②出願書類は一括して封筒に入れ、封筒の表に「大学院(博士前期)出願書類在中」と朱書きし、「簡易書留速達郵便」で郵送して下さい(郵送のみ受付)。

(3) 入学検定料

35,000円

入学検定料を出願期間内に必ず受験者本人名義で振込下さい(手数料本人負担)

金融機関: りそな銀行(0010)

支店名: 守口支店(211)

預金種別: 普通預金

口座番号: 4667068

口座名義: 学校法人関西医科大学 理事長 山下敏夫

(カナ): ガク)カンサイイカダイガク リジチヨウ ヤマシタトシオ

(4) 申請書類送付先

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号
関西医科大学看護学部事務室

(5) 出願上の注意事項

- ①受理した出願書類は、理由の如何を問わず返還しません。
- ②入学検定料は、払い戻ししません。
- ③疾病・負傷や身体障害のために受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始までに申し

出て下さい。

- ④出願に伴う個人情報を選考目的以外には利用しません。なお、入学者については、「教務関係(学籍管理、就学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うために利用します。

(6) 出願書類(所定様式については、ホームページよりダウンロードのうえ、作成して下さい)

出願書類	作成方法	確認
入学志願票(表) 履歴書(裏)	本研究科所定の様式 入学志願票と履歴書は両面印刷して下さい。	<input type="checkbox"/>
志望理由書	本研究科所定の様式 400字以内	<input type="checkbox"/>
研究業績調書	本研究科所定の様式 研究業績がない場合、「なし」と記載して下さい。	<input type="checkbox"/>
受験票	本研究科所定の様式に出願3ヶ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向き 縦5cm 横4cmの写真を貼付(写真の裏面には氏名を記入しておくこと)	<input type="checkbox"/>
受験票返信用封筒	定型封筒長形3号(ヨコ12cm×タテ23.5cm)に、返信先の住所・氏名を明記し、 392円切手(含簡易書留料金)を貼付したもの。	<input type="checkbox"/>
入学検定料振込書	入学検定料の振込証明書(またはATMによる振込票)を入学志願票裏面(履歴書 下部)に貼付して下さい。インターネットバンキングを利用した場合には、振込完了 の画面を印刷のうえ貼付して下さい。	<input type="checkbox"/>
卒業(見込)証明書(原本)	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の 長が証明したもの 大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、当 該校の卒業(見込)証明書 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学士の学位授与証明 書、授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書 他の大学院を修了(見込)の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分 も併せて提出して下さい。 	<input type="checkbox"/>
成績証明書(原本)	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長または学部長が証明したもの、または外国の学校教育機関の 長が証明したもの 大学以外の教育機関で看護教育(看護師、保健師、助産師)を受けた者は、 当該校の成績証明書 他の大学院を修了(見込)の場合には、学部または大学以外の教育機関卒業分 も併せて提出して下さい。 	<input type="checkbox"/>
免許証等の写し	看護師、保健師、助産師の免許証の写し (A4サイズに縮小すること) 関西医科大学附属医療機関に勤務する者は、在職証明書	<input type="checkbox"/>
その他	証明書等が現在の姓名と異なる場合、異動内容が確認できる戸籍抄本を必ず 同封して下さい。	<input type="checkbox"/>

4. 志望領域の選定

志望者は、別表「指導教員の研究概要」(9ページ参照)に示す研究領域のうち、志望する領域を入学志願票に記入する必要があります。

5. 試験日程・試験場所

入学試験は、外国語(英語)試験、専門科目(看護共通、看護専門)試験、面接試験の結果及び提出書類内容を総合的に判断して実施します。

(1) 試験科目

- ① 外国語(英語) ※辞書持込可(電子辞書不可)
- ② 看護共通
- ③ 看護専門(下記領域より志望する1科目を選択すること)
基礎看護学 看護生体学 国際看護学 看護学教育 精神看護学 在宅看護学
こども看護学 母性看護学 老年看護学 慢性疾患看護学 クリティカルケア看護学
- ④ 面接

(2) 試験日程

年月日	時間	科目名	配点	場所
平成 30 年 8 月 21 日(火)	9:30～11:00	外国語(英語)	100点	関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟
	11:20～12:20	看護共通	100点	
	13:20～14:20	看護専門	100点	
	14:40～	面接	—	

* 領域によって冬期日程を実施する場合があります。

(3) 注意事項

- ① 試験当日は受験票を必ず持参し、9時までに着席して下さい。
- ② 天候・公共交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ③ 試験開始後30分を超えて遅刻した場合は、受験を認めません。また試験時間中の退出はできません。
- ④ 電卓、電子辞書、計算機能及び辞書機能を備えた時計の持ち込みは禁止します。
- ⑤ 試験に際しては携帯電話等の電源は必ず切って、カバン等に入れて下さい。
- ⑥ 昼食は各自で持参して下さい。
- ⑦ 試験会場では駐車場が利用できませんので、公共交通機関を利用して下さい。
- ⑧ 大学敷地内はすべて禁煙です。

6. 合格発表

平成 30 年 8 月 29 日(水)正午に本学枚方キャンパス看護学部棟エントランスホール掲示板にて受験番号で掲示発表及び本学

ホームページに掲載します。また、合格者には、発表当日に合格通知書及び入学手続書類を発送します。電話による合否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続・学費等

合格者には後日別途案内します。

(1) 入学手続期間

平成 30 年 8 月 29 日(水)(合格発表当日)～9 月 10 日(月)【必着】

(2) 入学手続書類

- ① 誓約書
- ② 住民票記載事項証明書(外国籍の方も同様)

(3) 入学金・学費

	学 費	
	前期(入学手続時)	後期(納入期限:9/30)
入 学 金(初年度のみ)	200,000円	—
授 業 料	250,000円	250,000円
教育充実費	50,000円	50,000円
合 計	500,000円	300,000円

注1) 実習関連経費は自己負担となります。

注2) 関西医科大学附属看護専門学校卒業生、関西医科大学附属医療機関に勤務する者は入学金を減免(半額)します。

注3) 本学の貸与型・給付型奨学金制度があります。

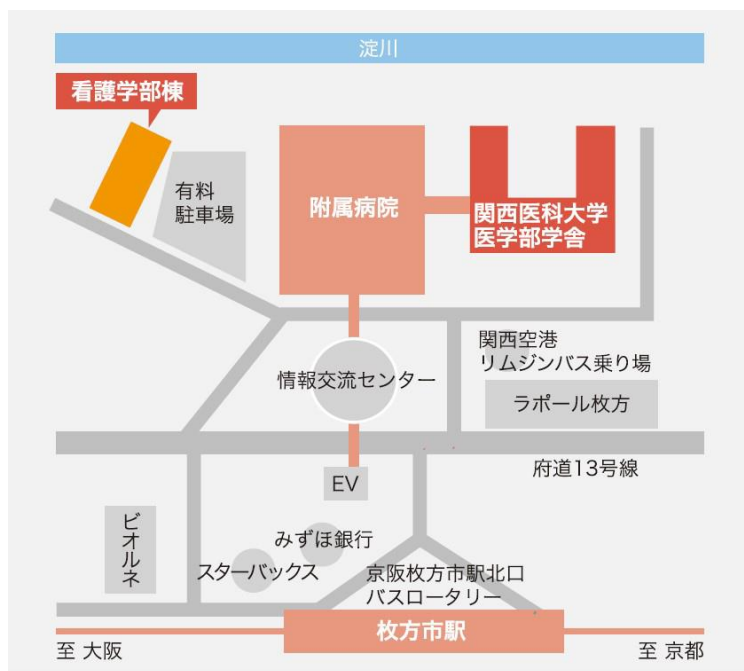
(4) 長期履修制度

申請が許可された者の長期履修適応年数は、博士前期課程は3年とします。

8. 交通アクセス

受験会場: 関西医科大学 枚方キャンパス 看護学部棟

京阪本線枚方市駅下車 徒歩5分



9. 出願に関する問い合わせ先

関西医科大学看護学部事務室

〒573-1004 大阪府枚方市新町二丁目2番2号

Tel : 072-804-0205, 0207 (事務室直通)

E-mail : nursing@hirakata.kmu.ac.jp (事務室代表)

※領域等についての問い合わせは、メール(nursing@hirakata.kmu.ac.jp)にて受け付けます。

件名には【課程(博士前期)志望する領域(基礎看護学・看護教育学など)】を記載して下さい。

事務取扱時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時50分(第1・3・5土曜日)

※第2・4土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉室

看護学研究科博士前期課程の概要

1. アドミッションポリシー

- ①高い倫理観を基盤に、自らの看護の力について語れる人
- ②看護実践で生じる様々な現象や課題を見極め、看護の質向上に寄与したい人
- ③看護あるいは保健・医療・福祉・教育における新たな問題を自主的に解決したい人
- ④実践に根ざした研究課題に取り組むために必要な研究方法を学びたい人

2. カリキュラムの編成

博士前期課程では、6領域(在宅看護学、精神看護学、こども看護学、老年看護学、慢性疾患看護学、クリティカルケア看護学)で高度実践看護師コースを開講予定としている。臨床看護教育者コースは、看護職の能力開発のため個別または集団への教育や支援を目指した西日本で初めての開設となる。疫学的・量的・質的研究方法を学習し、文献検索・検討や学術論文執筆に関する優れた研究能力の醸成に重点を置いた研究者コースの3つのコースを備えている。

分野	領域	高度実践看護 コース	臨床看護教育者 コース	研究者 コース
基盤看護分野	基礎看護学(理論)			○
	看護生体学(技術)			○
	看護学教育		○	
	国際看護学			○
広域看護分野	地域看護学			○
	在宅看護学	○		
	精神看護学	○		
生涯発達看護	こども看護学	○		
	母性看護学			○
	老年看護学	○		
治療看護分野	慢性疾患看護学	○		
	クリティカルケア看護学	○		

*高度実践看護師コースについては日本看護系大学協議会において高度実践看護師教育課程として申請する予定

3. カリキュラムポリシー

医科大学の中の看護学研究科として、附属医療機関をはじめ、総合クリニックや訪問看護ステーションなど、様々な医療提供ができる施設を併せ持つ本学の特徴を最大限に活かした科目で構成する。

<共通>

- ① 実践を支えるための基本的な理論を学ぶ授業を配置する。
- ② 環境と健康との関連を、地域、国内、国際的視野で捉え、看護がなすべき方向や課題を考え、変革する力を養うための科目を博士後期課程と合同で配置する。
- ③ 看護実践、教育と研究を有機的に連動させ、科学的根拠に基づいた看護実践へと変革するための研究法の授業を配置する。
- ④ 看護の専門的知識を実践に根差して捉えるため、専門領域には講義・演習・実習を配置する。

<高度実践看護師コース>

- ① 人々の多様な状況・背景を理解し、高度看護実践力を獲得するために、実習環境を整える。
- ② 学生が自ら実践力を客観的に判断し高度看護実践へと導くため、シミュレーション教育を積極的に導入する。

<臨床看護教育者コース>

看護基礎教育、新人教育、継続教育等の看護教育を受ける者の発達段階やレディネスに応じた教育が展開できるよう、環境を整える。

<研究者コース>

一連の研究プロセスを重点的に学び、研究を遂行するために、研究課題を焦点化する目的で演習(フィールドワーク等)を配置する。

4. ディプロマポリシー

<共通>

- ① 保健・医療・福祉・教育に関する情報を多面的に収集し、科学的・論理的に考察し、多職種と協働できる。
- ② 看護実践および教育と関連した研究課題について探究できる。
- ③ 人々の生活の質(Quality of life:QOL)のため、看護実践の変革に寄与できる。

<高度実践看護師コース>

- ① 医療の専門家であるという自覚と高い倫理観に基づいた高度看護実践を提供できる。
- ② 地域で暮らす人々の歴史や環境を理解し、生活に根差した健康の維持・推進のため系統的な高度看護実践を提供できる。
- ③ 高度先進医療を受ける人々、さらに受けた人々の多様な状況・社会背景を理解し、中・長期的な視野での高度看護実践を提供できる。

<臨床看護教育者コース>

- ① 看護職の看護実践能力育成のため、エビデンスに基づく体系的な教育プログラムを開発できる。
- ② 看護職の能力開発のため、個別または集団への教育や支援ができる。

<研究者コース>

実践に根差した研究課題に必要な研究方法を用い、研究に取り組むことができる。

5. 指導教員の研究概要

分野	領域	指導教員	概要
基盤看護分野	基礎看護学 (理論)	片田範子	実践科学として取り組むべき現象を臨床体験や文献などの体系的探索を通して特定し、看護現象の構造を明らかにする。倫理的側面に焦点をあてた看護介入や現象も含め、看護方法論の開発や中範囲理論の構築などを目的とした研究的探求を支援する。
	看護生体学 (技術)	藤本悦子	基盤看護分野での看護技術の検証と開発、睡眠に関する研究、リンパ浮腫ケアに関する研究、組織再生に関する研究。
	看護学教育	安酸史子	経験型実習教育のアクション・リサーチ、教師教育の方法論に関する研究、ケアリング・サイクルの形成に関する研究。
	国際看護学	近藤麻理	国際看護学領域でのグローバルな健康課題を文献や資料から検討し、現地におけるフィールド調査を中心とした研究計画書を作成する。国際的な研究において配慮すべき点などを十分に理解したうえで、調査を行い修士論文にまとめる。
広域看護分野	地域看護学	上野昌江 (平成31年度 着任予定)	保健師の支援技術の明確化(保健師対象)、困難事例へのケアモデルの構築(親への支援)、個人・家族、集団、地域を対象とした地域看護実践における支援技術の研究に関する指導を行う。周産期からの子ども虐待予防における等。
	在宅看護学	李錦純	在宅ケアにおける多機関・多職種連携と看護のあり方、在宅移行支援における退院調整看護師の役割、多文化共生社会における在宅ケア、中山間地域における訪問看護と地域包括ケアに関する研究指導を行う。
	精神看護学	三木明子	精神疾患、精神障害、精神健康の問題を抱えた対象者に対する精神症状の評価と看護介入、看護師のストレスマネジメントとメンタルヘルス支援、暴力・ハラスメント被害者への支援に関する研究指導を行う。
生涯発達看護分野	こども看護学	加藤令子	こども自身の主体的な医療参加に関する研究、障がいのあるこどもや医療を必要とするこども自身の自然災害への備えに関する研究、こども看護における高度看護実践看護師の役割・機能に関する研究について指導を行う。
	母性看護学	酒井ひろ子	女性の健康課題に対する支援、周産期にある女性とその家族を対象に、健康の保持増進、親そして家族発達を促進する支援、開発途上国の地域住民を対象とした保健医療活動や支援についての研究指導を行う。
	老年看護学	水野敏子	高齢者の終末期看護として、特に在宅における終末期看護、独り暮らし高齢者の終末期看護、認知症高齢者の看護としては認知症と身体合併症を併せ持つ高齢者の急性期看護、急性期医療における高齢者看護、および、高齢者を介護する家族の介護と負担、高齢者の転居と生活の質の変化 高齢者の健康増進についての研究に関する指導を行う。
治療看護分野	慢性疾患看護学	瀬戸奈津子	糖尿病看護における実践能力育成プログラムの評価、慢性心不全患者の外来看護支援ツールの開発、クローン病患者の症状と運動の関係等、慢性疾患看護を中心としたテーマの研究に関する指導を行う。
	クリティカルケア看護学	林 優子	急性期及び周手術期におけるシミュレーション教育やIBL(Inquiry based learning)教育、クリティカルケア看護師の臨床判断、臓器移植看護における倫理的実践に関する研究、患者教育のための看護実践モデルの開発等、看護実践力、倫理的実践力、教育方法等の研究に関する指導を行う。

